



# さる山

SPEAKS LIKE A HUMAN

15~20分かかる 3~5人あそべる 6才からできる

## 入ってる物たしかめる

- ことばカード…69まい
- おしえるカード…8まい
- 『さる』カード…12まい
- 『さる』メダル…12まい
- 『AI』カード…1まい
- 『AI』メダル…1まい

01

## さるめざめる

それはある日の朝にそこにある  
なぞのいた『モノシリス』  
さるがさわる!「しゃべる」ができる  
さるに流行る! 大いに流行る!!  
じんるいの夜明けがやって来る



## さる知る

さるに『ことば』を1番多くしゃべ  
らせたプレイヤーの勝ちである

02

## ことばカード

文字が書いてある



## さるカード/AIカード

「る」と書いてある



AIカードだけ  
うらがことなる

03

## さるならべる

さるカードを全員に見えるようにならべて場とする  
プレイする人数によってならべる枚数はかわる



04

## さるまぜる~重ねる~始める

ならべていない『さるカード』1まいと『ことばカード』をよく  
まぜてうらにして1つに重ねる。これを『さる山』と名づける  
使わない『さるカード』は箱に入れる  
『さるメダル』は見えるところにまとめる  
『さる山』からカードを1人5まいづつ配る  
『さる山』の好きなところに『AIカード』をうらにして入れる  
このゲームの箱にはじめにさわった人からゲームを始める

## さる3つからえらべる

プレイヤーは「しゃべる」「パクる」「考える」のうち1つやる

05

## 1 しゃべる

自分の手番で手持ちの『ことばカード』を1まい  
場に出し『さるカード』とつなげて『ことば』を  
作ることができる

## 2 文字

しゃべるで使える『ことばカード』は1まいだけ  
だが1文字でも2文字でもつなげられる

## 1 文字

「ゝ」「っ」「っ」は自由に付け外しできる  
つなげたら同じ絵の『さるメダル』を手に入れて  
右のプレイヤーの手番になる

自分がしゃべらせたさるをもう一度  
しゃべらせる時も1枚だけ使える

## 2 文字

『さるカード』を持っていたら『ことばカード』の「る」  
として使うことができるし『さるカード』として使う  
こともできる

『さるカード』として使うときは手持ちの『ことばカ  
ード』1まい使って『ことば』を作った場にならべる  
その後、同じ絵の『さるメダル』を手に入れて  
『さる山』から1まい引いて自分の手番が終わり右の  
プレイヤーの手番になる

『さるメダル』はあなたが『ことば』をおしえた  
あかして、これを集めるとゲームに勝てる

## 3 考える

手持ちの『ことばカード』を相手の『ことば』につなげる  
のが「パクる」である。相手の『ことば』を「パクる」時は  
『ことばカード』を何まいでも出すことができる。パクったら  
相手の持っているその絵と同じ『メダル』を受け取り、『さる  
山』から1枚引いて右のプレイヤーの手番になる

『さる山』から2まい引いて右のプレイヤーの手番になる  
『ことばカード』は6まい持てる  
それより多かつたら多い分だけすてる

## 2 パクる

『さる山』から2まい引いて右のプレイヤーの手番になる  
『ことばカード』は6まい持てる  
それより多かつたら多い分だけすてる

## 3 考える

『さる山』から2まい引いて右のプレイヤーの手番になる  
『ことばカード』は6まい持てる  
それより多かつたら多い分だけすてる

『さる山』から2まい引いて右のプレイヤーの手番になる  
『ことばカード』は6まい持てる  
それより多かつたら多い分だけすてる

『さる山』から2まい引いて右のプレイヤーの手番になる  
『ことばカード』は6まい持てる  
それより多かつたら多い分だけすてる

『さる山』から2まい引いて右のプレイヤーの手番になる  
『ことばカード』は6まい持てる  
それより多かつたら多い分だけすてる

08

## さるつなげる



場にある『ことば』に『ことばカード』を  
くわえて新しい『ことば』を作る  
それが『つなげる』である

「い」「れ」と書かれたカードで説  
明する。①にくわえると「いのち  
る(A)」に②にくわえると「この  
ちる(B)」になる

『ことばカード』のあいだなら  
どこにでもくわえることがで  
きるが、ルールが2つある

09

## さるつなげる(まだある)



## 『ことば』の文字は全部使いきる

左の絵では「あまる」に「たえ」を加  
えている。「甘える」はOKだが  
「あたる」は元からあった「ま」の  
文字をかくしているので作ること  
はできない。おしくも「あたる」は作  
れなかったが『ことばカード』  
の文字を2つとも使うとより  
長いことばを作れる

10

## さるつなげる(もう少しある)



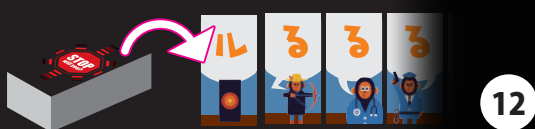
## 重なった文字はかくれてる

左の絵では「ある」に「たえ」を加  
えている。『さるカード』の上のカー  
ドには「あ」と「ま」が書かれてい  
るが「ま」はかくれている。つなげる時  
にかくれた文字は使えないのであきら  
める

11

## AIあらわれる

『さる山』の1番上のカードが『AIカード』になったら  
『AIカード』を表にして場にならべる  
その後、のこりの『さる山』を箱に片付ける



12

## さるしゃべり終わる

場に『AIカード』が出たら、この先「しゃべる」「パクる」  
はできるが「考える」はできなくなる  
(『さる山』からカードを新たに引けなくなる)  
「しゃべる」「パクる」が出来ない場合は「みまもる」となり  
何もしないで手番が終わり右のプレイヤーの手番になる

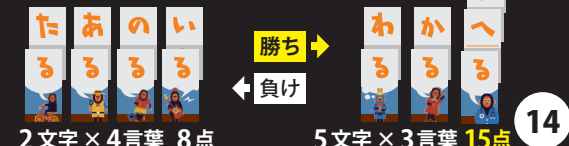
全員が「みまもる」になったらゲームが終わる

持っている『さるメダル(AIメダル)]を良く見て自分が  
『ことば』をしゃべらせた『さる(AI)]の点を数える

13

## さる数える

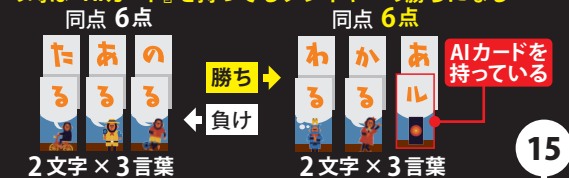
1番長い言葉の文字数(「る」も数える)×言葉の数  
点数の1番高かったプレイヤーが勝ちになる  
同点の場合は『さる』の多いほうが勝ちになる



14

## さるまける

『さるカード』と『AIカード』を持っているプレイヤーが同点  
の時は『AIカード』を持ってるプレイヤーの勝ちになる



15

## さるみんなまける

さる同士で勝手が決まらない時は『AIカード』を持っている  
プレイヤーが勝ちになる



16



studio Turbine  
Create together relationship

Design: CTR (Studio Turbine)  
Illustration: QUESTION No.6  
Cooperation: Children's Tree Games  
GEKIDAN GAIA\_crew  
muramasa64 Ryota Mitsuhashi